

注意：審査時に持参する。（厳守）

耐震診断現地チェック表

診断番号

1. 耐震診断を実施する建築物概要

所有者	(所有者確認) ・ 口頭確認 ・ 書面確認		
建物名称	■		
所在地	区	注意：依頼書内容と相違がないか必ず確認する。	
用途	・ 専用住宅 ・ (■) 併用住宅 ・ 長屋 ・ 共同住宅		
建築年度	明治・大正・昭和 年 ・ 着工 ・ 竣工 (・ 口頭確認 ・ 書面確認)		
構造形式	・ 在来軸組構法 (方法1) ・ 伝統構法 (方法2)		

2. 耐震診断結果 (略)

3. 現地調査結果 (現地調査票)

注意：現地調査実施前に名古屋市HPより閲覧。
「過去の地震を考慮した最大クラス」の部分で確認し記載する。

建築物概要				
地盤	地震ハザードマップによる想定震度 ・ 震度6強以上 ・ 震度6弱 ・ 震度5強以下			
	地震マップによる液状化可能性等 ・ 大 ・ 中 ・ 小 ・ なし			
	・ 土砂災害危険箇所 対策 ・ 表層の地盤改良を行っている ・ 杭基礎である ・ 特別な対策を行っていない ・ ()			
地盤の種類	・ 良い・普通 ・ 悪い ・ 非常に悪い (軟弱地盤割増 1.5) → ※概要チェック入力後に確認			
地形	・ 平坦、普通 ・ がけ地・急斜面 → (・ コンクリート擁壁 ・ 石積み ・ 特別な対策を行っていない)			
RC造の地階	有・無 ・ 木造建物の一部がRC造の地階の上に載っている ・ 木造建物の大部分がRC造の地階の上に載っている (必要耐力割増 1.2)			
基礎	・ 鉄筋コンクリート基礎 → ・ 健全 ・ ひび割れが生じている (0.3ミリ程度 ・ 以上・未満) ・ 無筋コンクリート基礎 → ・ 健全 ・ ひび割れが生じている (0.3ミリ程度 ・ 以上・未満) ・ 玉石基礎 → ・ 足固めあり ・ 足固めなし ・ その他の基礎 (ブロック基礎など)			
屋根仕様	・ 石綿スレート板、鉄板葺など ・ 棧瓦葺など ・ 土葺瓦屋根など	外壁仕様	・ ラスモルタル (土壁・有・無) ・ 鉄板+プラスターボード等 (土壁・有・無) ・ サディング (土壁・有・無)	
平面の特徴形状割増係数	・ 短辺幅4m以上 (割増 1.0) ・ 短辺幅4m未満 (割増 1.13) ・ 極端に変形→対象外	内壁仕様	・ ボード貼り (土壁・有・無) ・ ジュラク塗 (土壁・有・無)	
建物の重さ	・ 軽い ・ 重い ・ 非常に重い → ※概要チェック入力後に確認			
床仕様	・ I (合板) ・ II (火打ち+荒板) ・ III (火打ちなし又は確認不可能) ※ 4m以上の吹き抜け (・ 有 ・ 無)			
主要な柱径	・ 120mm未満 ・ 120mm以上			
接合部	・ I (平12建告1460号に適合する仕様) ・ II (羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-T、CP-L、込み柱) ・ III (ほぞ差し、釘打ち、かすがい等) 総2階建で隅全てが通し柱の場合 ・ IV (ほぞ差し、釘打ち、かすがい等又は確認不可能)			
使用履歴	増築	有・無	年	注意：設計図書等で確認出来ない場合は必ず、所有者 (申込者) に聞き取り調査を実施する。報告書平面図にその旨わかりやすく記載する。
	改築	有・無	年	
	補修	有・無	年	
	用途変更	有・無	年	
特記事項				

特殊構造・特殊工法の有無			
スキップフロア等	有・無	混構造 RC+木造・S+木造等	有・無
ツーバイフォー工法	有・無	伝統構法型木造住宅部分	有・無
工業化住宅	有・無		有・無

耐震診断現地チェック表

診断番号

1. 耐震診断を実施する建築物概要 ※診断依頼票と相違がないことを必ず確認すること。

所有者	(所有者確認) ・口頭確認 ・書面確認
建物名称	
所在地	区
用途	・専用住宅 ・() 併用住宅 ・長屋 ・共同住宅
建築年度	明治・大正・昭和 年 ・着工 ・竣工 (・口頭確認・書面確認)
構造形式	・在来軸組構法 (方法1) ・対象外住宅 ※対象外と判断できる根拠が添付必要。 ・伝統構法 (方法2) ※伝統構法を含むときはチェックシート要

2. 耐震診断結果 (略)

3. 現地調査結果 (現地調査票) ■現地調査日時: 年 月 日 () 時~

建築物概要	
地盤	地震ハザードマップによる想定震度 ・震度6強以上 ・震度6弱 ・震度5強以下 地震マップによる液状化可能性等 ・大 ・中 ・小 ・なし ・土砂災害危険箇所 対策 ・表層の地盤改良を行っている ・杭基礎である ・特別な対策を行っていない ・()
	地盤の種類 ・良い・普通 ・悪い ・非常に悪い (軟弱地盤割増1.5) → ※概要チェック入力後に確認
地形	・平坦、普通 ・がけ地・急斜面 (・コンクリート擁壁 ・石積み ・特別な対策を行っていない)
RC造の地階	有・無 ・木造建物の一部がRC造の地階の上に乗っている ・木造建物の大部分がRC造の地階の上に乗っている (必要耐力割増1.2)
基礎	・鉄筋コンクリート基礎 → ・健全 ・ひび割れが生じている (0.3ミリ程度 ・以上・未満) ・無筋コンクリート基礎 → ・健全 ・ひび割れが生じている (0.3ミリ程度 ・以上・未満) ・玉石基礎 → ・足固めあり ・足固めなし ・その他の基礎 (ブロック基礎など)
屋根仕様	外壁仕様 ・石綿スレート板、鉄板葺など ・棧瓦葺など ・土葺瓦屋根など ・ラスモルタル (土壁・有・無) ・鉄板+フラスターボード等 (土壁・有・無) ・サイディング (土壁・有・無)
平面の特徴形状割増係数	内壁仕様 ・短辺幅4m以上 (割増1.0) ・短辺幅4m未満 (割増1.13) ・極端に変形→対象外 ・ボード貼り (土壁・有・無) ・ジュラク塗 (土壁・有・無)
建物の重さ	・軽い ・重い ・非常に重い → ※概要チェック入力後に確認
床仕様	・I (合板) ・II (火打ち+荒板) ・III (火打ちなし又は確認不可能) ※ 4m以上の吹き抜け (・有 ・無)
主要な柱径	・120mm未満 ・120mm以上
接合部	・I (平12建告1460号に適合する仕様) ・II (羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-T、CP-L、込み柱) ・III (ほぞ差し、釘打ち、かすがい等) 総2階建で隅全てが通し柱の場合 ・IV (ほぞ差し、釘打ち、かすがい等又は確認不可能)
使用履歴	増築 有・無 年 規模・状況
	改築 有・無 年 規模・状況
	補修 有・無 年 規模・状況
	用途変更 有・無 年 規模・状況
特記事項	

特殊構造・特殊工法の有無			
スキップフロア等	有・無	混構造 RC+木造・S+木造等	有・無
ツーバイフォー工法	有・無	伝統構法型木造住宅部分	有・無
工業化住宅	有・無		有・無

設計図書等の調査			
関係図書	建築確認図書	有・無	
	住宅金融公庫関連図書	有・無	
	設計図書	平面・立面・軸組・基	
現地建築物との相違	1階平面	2階平面	
	有・無	有・無	

注意：現地調査日程調整する際には必ず設計図書等の有無は所有者（申込者）に確認し当日ご用意して頂く様にお願いします。

部分点検調査票（評点に反映しない部分）				目視調査により、調査可能な部分について記入	
部位等		調査内容		コメント	
建物周囲の地盤条件		擁壁等の傾斜、亀裂等の有無		擁壁等有・無 亀裂等有・無	注意：上記に記載の通り、目視調査の可能な部分について現地調査を実施し診断員の責任に於いて判断する。コメント欄には診断員自身がどの場所で確認し判断したかを記載し審査の際に内容に相違がある場合に回答できる様にしておいて下さい。
構造耐力上主要な軸組等	部材の断面欠	大きな欠き込み、割れの有無		不明/有・無	
		大きな欠き込み、割れの有無		不明/有・無	
		大きな欠き込み、割れの有無		不明/有・無	
		筋かいの有無（・図面 ・目視 ・聞取り）		不明/有・無	
		大きな欠き込み、割れの有無		不明/有・無	
	接合金物		不明・有・無	注意：接合金物は平成12年建設省告示第1460号に適合する金物です。	
土台と柱		不明・有・無		有・無	
柱と梁桁		不明・有・無		有・無	
筋かい材		不明・有・無		有・無	
床下部分		接合金物		不明/問題有・無	
梁と柱、差し鴨居		接合金物		不明/問題有・無	
筋かい端部		接合金物		不明/問題有・無	
水平剛性の確保	2階床面又は小屋梁面	接合金物		不明/問題有・無	
	吹抜け	接合金物		吹抜け/有・無	
下家、増築部		接合金物		下家など/有・無	

劣化度調査票					
部位	材料、部材等	存在	劣化事象		劣化
屋根葺き材	金属板	有・無	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある		有・無
	瓦・スレート		割れ、欠け、ずれ、欠落がある		有・無
樋	軒・呼び樋	有・無	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある		有・無
	縦樋		変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある		有・無
外壁仕上げ	木製板、合板	有・無	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある		有・無
	窯業系サイディング		こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある		有・無
	金属サイディング		変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れ		有・無
	モルタル		剥離、ひび割れ、目地入り		有・無
露出した躯体		有・無	水浸み痕、こけ、割れ、ずれ、欠落		有・無
バルコニー	手すり壁	有・無	木製板、合板		有・無
			窯業系サイディング		有・無
			金属サイディング		有・無
	外壁との接合部		有・無	外壁面との接合部に電裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある	
床排水		有・無	壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い		有・無
内壁	一般室	有・無	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある		有・無
	浴室	有・無	目地の亀裂、タイルの割れがある		有・無
		有・無	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		有・無
床	一般室	有・無	傾斜、過度の振動、床鳴りがある		有・無
	廊下	有・無	傾斜、過度の振動、床鳴りがある		有・無
	床下	有・無	基礎の亀裂や床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある		有・無

注意：劣化度調査は建物の現状を把握し所有者（申込者）へ報告する内容です。診断員の責任に於いて判断して下さい。全く劣化事象が無い事は希な状態であると思われます。診断対象建物は昭和56年5月以前の建物です慎重に判断して下さい。